

首里城正殿復元工事 上棟記念イベントについて

1 正殿復元工事の 上棟完了

首里城の正殿復元工事（工期：令和4年～令和8年）は、令和5年12月末に木造3階建てとなる大径材の現地組立て（軸組建方）完了後、屋根工事に着手しました。令和6年5月中旬には正殿の顔となる「唐破風」の取り付けを行い、5月下旬に上棟（屋根・軒廻りの木工事による造作）が完了、5月27日には施工業者主催により「工匠式」（上棟完了の節目に宮大工が執り行う行事）が行われました。今後は漆塗り、細部の装飾を進め、令和8年の完成を目指します。

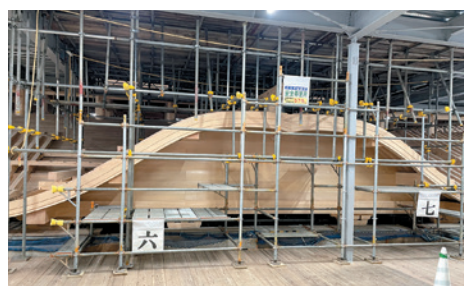
また、5月25日には國場国土交通副大臣が現地を視察し、関係者に対し「皆様のご尽力により正殿が着実に復興されることを心より祈念いたします」と激励しました。



参考：消失前の首里城



上棟が完了した正殿工事（令和6年5月25日）



正殿の顔となる「唐破風」の設置状況（令和6年5月14日）



正殿屋根の軒先の状況（令和6年5月25日）



工匠式の状況（令和6年5月27日）※施工業者主催



國場国土交通副大臣による激励（令和6年5月25日）



2 正殿復元工事 上棟記念イベント概要

令和6年5月25、26日に首里城公園内において、正殿復元工事の上棟完了を記念した各種イベントを開催し、約6500人（見学5154人、体験1387人）の参加がありました。（別表参照）

① 素屋根内見学（場所：素屋根内）

普段は入れない素屋根内部（正殿工事箇所）を特別に一般公開し、瓦を載せる前の・漆を塗る前の・今しか見れない白木の正殿の姿を多くの方が間近で見学しました。

② 宮大工体験（場所：木材倉庫）

※25日のみ開催

正殿工事に携わる宮大工の方々に協力いただき、解説を聞きながら、実際にカンナかけ、木組みなどの作業を多くの方が体験しました。（令和5年9月、令和6年3月に実施した同内容イベントの第3弾）

③ 瓦葺き体験（場所：下之御庭）

参加者は、正殿に実際に使われる瓦と同じ瓦を使って、実際に瓦を組み立てながら、復元する屋根の仕組みを学びました。

④ 瓦文様工作体験（場所：下之御庭）

参加者は、粘土に正殿瓦の絵柄を刻んだ型を押して、文様入りの小物を作成（作品は持ち帰り）しました。



①素屋根内見学 (2F 唐破風前)



①素屋根内見学 (3F 屋根入母屋前)



②宮大工体験 (木組み)



②宮大工体験 (カンナかけ)



②宮大工体験 (カンナくずバラづくり)



③瓦葺き体験



③瓦葺き体験



④瓦文様工作の作品



④瓦文様工作体験

別表 上棟記念イベント実施結果概要

イベント名／日	参加方法	所要時間	参加者数		合計
			25 日	26 日	
①素屋根内見学	予約不要	約 20 分	1,935 人	3,219 人	5,154 人
②宮大工体験	事前予約制	約 45 分	156 人	—	156 人
③瓦葺き体験	予約不要	約 15 分	203 人	342 人	545 人
④瓦文様工作体験	予約不要	約 15 分	327 人	359 人	686 人

※全てのイベントは参加費無料（①②は有料区域入館料は必要）

お問合せ先
開発建設部 建設産業・地方整備課
☎098-866-1910